

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S29	施策名	統計データやアンケートのデータの活用推進			
担当部課	市長公室情報課	関係部課	企画政策課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	無				
施策開始の背景、経緯等	合理的・効率的な行政運営の推進					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市民アンケートを集約化し、これまで各課で保有していたデータを横断的に活用できるようにし、統計データとしての利活用を図る。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民・職員				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 統計データを有効活用し、根拠に基づく政策・施策を企画し実施する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	アンケートの集約化・合理化				
		R2年度(2020) 成果・実績	R3年度(2021) 成果・目標	R4年度(2022) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標
	アンケートの集約化・合理化に向けた施策検討	アンケートの集約化・合理化に向けた施策検討及び各課調整	アンケートの集約化・合理化の実施	アンケートの集約化・合理化の実施	アンケートの集約化・合理化の実施	
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
	市民参加数・実績(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	
目標・成果推移等②	施策に係る取組②	統計データの有効活用				
		R2年度(2020) 成果・実績	R3年度(2021) 成果・目標	R4年度(2022) 成果・目標	中期(おおよそ3年後) 成果・目標	長期(おおよそ5年後) 成果・目標
	統計データの有効活用に向けた方策検討	統計データの有効活用に向けた方策検討	統計データを有効活用した施策検討	統計データを有効活用した施策検討	統計データを有効活用した施策検討	
	費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
	市民参加数・実績(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	市民参加数・見込み(延べ) 0 人	
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 各課が基本計画の策定等を行う際、それぞれ市民アンケートを実施したため、一部の市民からは複数のアンケートが届き、同じような設問を何度も回答することになったという声が上がった。また、計画策定に焦点を絞った設問となるため、施策の費用対効果や市民満足度を集計するには不適當な設問が多いことから、より統計データとしても利活用が可能な情報が収集できるような改善が必要である。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 市民の視点ではアンケートに回答する利点が少ないため、利点の提供や、回答を気軽にできるようにするための方策等を検討する。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和2年度末に集約化に向けた庁内照会を実施した。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 未着手
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) アンケートの集約化・合理化に向けた施策検討及び各課調整を行い、一元化したアンケート調査によりデータを横断的に活用できるようにし、統計データとしての利活用を図る。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・アンケートの紙媒体の郵送・返送によるの実施以外の集約化・合理化する方法として、オンラインや広報折込などの活用について検討してください。 ・アンケート以外の市民に意見を聞く方法についても検討してください。
内部意見への回答		